



みなとみらい21 Information

2005
Vol. 76

魅力あふれる 街づくりを目指して

平成16年の「みなとみらい21地区」への年間来街者数は約4500万人。

平成16年2月のみなとみらい線の開通をはじめ新しい施設のオープン、来街者の増加に大きく寄与しています。平成15年に実施した来街者へのアンケートによれば、この街の魅力として「街全体の雰囲気よさ」や「夜景の美しさ」をあげる回答が7割を超えています。なぜ、みなとみらい21はそのような魅力を持つようになったのか。そこには、地権者の街づくりに対する共通した理念がありました。

「みなとみらい21街づくり基本協定」に沿って、地権者が協力して魅力的な街づくりを進めてきたみなとみらい21では、2005年5月、横浜ランドマークタワーからパシフィコ横浜へと続くクイーン軸の建築群が日本建築学会賞(業績部門)を受賞しました。赤レンガ倉庫に続く2年連続の受賞です。ハード面での街づくりと、街の運営を図る各種協議会の活動やイベント開催などの街を活気づかせるソフト面での活動が、両輪をなす形でみなとみらい21全体の街づくりを促進し、その結果として、来街者数の増加につながりました。

(株)横浜みなとみらい21と街づくり協議会

みなとみらい21事業の着工は1983年。翌1984年には横浜市、神奈川県、当時の住宅・都市整備公団(現:都市再生機構)と民間地権者、地元経済界などにより、業務機能の誘致・集積、街づくりの調整・推進、広報、各種調査の実施などを目的に、(株)横浜みなとみらい21が設立されました。

1988年、同社と地権者は、街づくりの基本的な考え方を「みなとみらい21街づくり基本協定」(以下「基本協定」という。)として定め、街づくりを進める母体となり基本協定を運用する組織として「みなとみらい21街づくり協議会」(以下「街づくり協議会」という。)を設置、事務局を(株)横浜みなとみらい21としました。基本協定は、調和のとれた街づくりを進めていくことを目的として、地権者間の協議によって定められたルールです。

各種の取り決めについて、事業者によって意見が分かれる場合にも、街づくり協議会が中心となって、地権者や事業者間のさまざまな意見の集約と調整を図り、お互いの納得が得られる内容にまとめていきます。

また、街づくりを推進するなかで発生する多様な課題に柔軟に対応するため、基本協定を適宜見直し、必要に応じて改定や、基本協定を補う各種の基準・指針・ガイドラインの策定、あるいは横浜市による街づくりに必要な制度整備などを行ってきました。



「みなとみらい21街づくり基本協定」関係文書

計画された街としてのみなとみらい21



ステーションコア（クイーンズスクエア横浜）

街並み全体として、街の内陸から海に向かって建物の高さが徐々に低くなるよう配置しています。たとえばクイーン軸では、建物のスカイラインが海へ向かってなだらかに傾斜する美しい景観を実現しています。

建物の色調や広告物については、街並みとしての調和を生み出すために、それぞれの建物が過度な自己主張して景観を混乱させることがないように、街の基調をなす色調や質感を整えるように調整し、屋外広告物についても、その量や形態、デザインに配慮することを取り決めています。

それぞれの建物の低層部においては、屋外空間と建物とを結びつける中間領域としてのコモンスペースを積極的に配置することを定めています。通り抜け通路、中庭、吹き抜け空間などで形成されるこのスペースは、人びとが自由に通り抜けることのできる空間で、そこには独自の創意工夫による演出を施し、パブリックアートの展示についても積極的に導入するよう促しています。



リーフみなとみらい(1F)アトリウム

街づくり協議会では、地区内の施設を建設する事業者に、基本協定への理解を得ながら街づくりを進めてきました。そのひとつの理念が、スカイライン・街並み・眺望に関するものです。

内陸から海へ向かう主要な道路である「けやき通り」や「いちよう通り」に面する街区では、道路に面した敷地の境界線から2m～4mの幅で建物の外壁後退を求めています。これにより、パレードなどを行った際にもゆったりとしたオープンスペースが確保されています。

また、来街者や施設利用者への利便性、快適性の向上に資するためには、共同溝から供給される地域冷暖房、高度情報通信などの都市システムの活用や都市防災、バリアフリー、環境への配慮など、都市管理についてしっかりした考え方を共有することも重要です。こうした各種のシステムや基準によって、この街の第一の魅力として「街全体の雰囲気がい」という特徴が生み出されたのです。



「白い花」 作：新宮 晋
(日本丸メモリアルパーク)

街の運営に携わる各種協議会・委員会の活動

この地区に年間4500万人もの人が訪れる理由は、景観が魅力的なだけではありません。この街をさらに活気づかせ、訪れる人を楽しませてきたのは、街というハードウェアを作りながら同時に進めてきたソフト面での街づくりです。

毎年4月に行われる「野毛大道芸」、6月の「フランス映画祭」や10月の「オクトーバーフェスト」、クリスマスのイルミネーションなど年間を通じて開催される各種のイベントは、来街者の増加に大きく寄与してきました。

また、街の運営では、各種の協議会・委員会が街づくり協議会と連携を図りながら、街づくりの促進を図って

新港地区に「横浜みなとみらい万葉倶楽部」オープン

「くつろぎの空間」総合温泉レジャー施設が誕生

本年6月、新港パークに隣接する11-3街区に横浜みなとみらい万葉倶楽部がオープンし注目を集めています。「都市に、至福の和の温泉空間」をコンセプトとするこの施設は、コンベンション、ビジネス、ショッピング、アミューズメントなどの印象が強かったこの地区に「くつろぎ」という新しい要素をもたらしました。



地上8階建ての施設には、屋上に港の眺望が楽しめる展望足湯庭園をはじめ、大浴場や露天風呂、エステやマッサージ、ヒーリングルーム、宿泊施設、食事処、宴会場などのレジャーニーズに加え、オフィス機能を備えたJobセンターや全館無線LAN対応によるインターネット接続など、ビジネスニーズにも対応しています。

この施設は、当地区で初となる「みなとの賑わい特区」の適用を受けて誕生しました。港の景観を最大限に活用できる施設のオープンにより、新港地区にさらなる賑わいが生まれ、当地区の一層の成熟を促進します。

横浜市では、臨海部の街づくりを促進するため、埋立地の権利移転や用途変更を制限した公有水面埋立法の規制を緩和する特区を国に申請し、「みなとの賑わい特区」として認定されました。



事業主体	万葉倶楽部株式会社
敷地面積	約4,100m ²
延床面積	約20,600m ²
施設内容	地上8階(屋上：展望足湯庭園) 大浴場、露天風呂、リラクゼーション施設、宴会場、客室、駐車場 等

います。桜木町駅前総合案内所やホームページを運営する「みなとみらい21街の案内運営委員会」や、リサイクル活動を行う「みなとみらい21リサイクル推進協議会」のほか、電波障害の解消を図る協議会なども設置され、地元企業・団体、および就業者の協力を得ながら積極的にさまざまな活動を展開しています。

さらに昨年7月「みなとみらい21プロモーション協議会」という新しい組織も発足しました。この協議会では、イベントなどに関する情報交換に加え、協議会のロゴマークを制定して、各種メディアへの共同リリースの配信や、ポスター・パンフレットでの広報を行うなど、街全体の総合的なプロモーション活動を積極的に展開しています。たとえば、昨年のクリスマスには、地区内共通のテーマやキャッチフレーズを決めて、街



「フランス映画祭 横浜2005」オープニングセレモニー ©フランス映画祭事務局

ぐるみで統一感のあるクリスマスシーンを演出したり、今年4月～7月に横浜美術館で開催された「ルーヴル美術館展」を記念して、クーポンブックを作成・配布して、来街者の増加と地区内の回遊性の向上を図りました。



「野毛大道芸 in みなとみらい21」開催風景

ますます高まる街づくり協議会の役割

みなとみらい21地区は、平成16年度末にはすでに計画の中のものを含めて約7割の土地が利用されていますが、今後、成熟した街へと一層の発展を遂げていくことが期待されています。そのためには、街の魅力を維持・発展させていくことが必要であり、地権者の街づくりに対する共通した理念の実現が求められています。そのようななかで、街づくり協議会の役割は、ますます高まっていくのではないのでしょうか。

みなとみらい21街の案内運営委員会

平成7年、みなとみらい21地区の来街者に対し街の案内・コンベンション案内などを行うため設立されました。当初からの桜木町駅前総合案内所での案内業務に加え、地区内の歩行者案内サインの更新業務、さらに現在では、当地区のイベント・施設・店舗などを包括的に紹介する「横浜みなとみらい21公式ウェブサイト」の運営が重要な業務となり、現在49団体が加入しています。

みなとみらい21緑花推進協議会



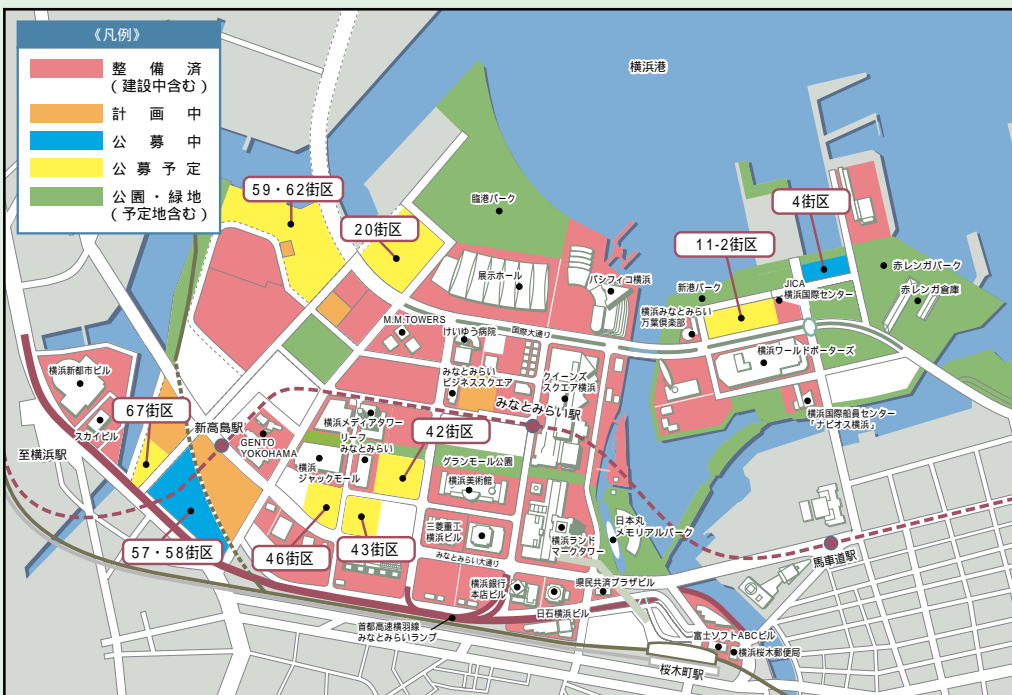
桜木町駅前広場

みなとみらい21地区に「花による賑わい」を創出するために平成13年3月に設立され、現在地区内外企業30団体に運営しています。今年は「2005年春、みなとみらいは花いっぱい！」をテーマに、桜木町駅前をはじめ、地区全体を花で飾るフラワーモール事業を実施しました。フラワーモールは毎年春開催、花いっぱいメイクアップして皆様をお待ちしています。

開発募集街区情報

— 横浜市で、公募実施中および公募予定の街区を紹介します —

(平成17年9月現在)



公募実施中街区

街区	敷地面積	処分方法
4	約 7,000m ²	売却
57・58	約23,000m ²	売却

公募予定街区

街区	敷地面積
11-2	約12,500m ²
20	約22,100m ²
42	約12,900m ²
43	約 7,800m ²
46	約 9,000m ²
59・62	約38,200m ²
67	約 7,800m ²

ここで紹介している街区は、横浜市が現在公募中の街区および今後公募予定の街区です。

今後とも、市民の就業の場の創出を図るとともに、多くの方々に親しまれる賑わいと活力あふれる街づくりを進めていきます。

詳細は、横浜みなとみらい21公式ウェブサイト <http://www.minatomirai21.com/development/guide.html> をご覧ください。

急ピッチで進む高層集合住宅建設

現在、中央地区で、分譲型・賃貸型の高層集合住宅の建設および計画が急ピッチで進められています。

これらの完成により、良好な住環境を有する「住む街」としての「みなとみらい21」の街づくりが大きく進展することになります。

街区	名称	建物規模	予定戸数	竣工予定
40	M.M. TOWERS FORESIS	地上30階・2棟	1226戸	平成19年 1月 平成20年 1月
41	みなとみらいミッドスクエア	地上31階・1棟	650戸	平成19年 6月
50	Brillia Grande みなとみらい	地上30階・2棟	555戸	平成19年11月
50	ロイヤルパークスタワ(仮称)	地上29階・1棟	413戸	平成19年12月
50	パシフィックレジデンスタワー(仮称)	地上29階・1棟	429戸	平成20年 6月

イベント

「第25回 全国豊かな海づくり大会」

テーマは“光る海 未来を映す 大きな鏡”



大会イメージ図

水産資源の保護や海の自然環境を守ることの大切さをみんなで考える「第25回全国豊かな海づくり大会」が開催されます。この大会は、神奈川県と横浜市が中心になって、

消費者の立場から見た海の恵や環境保全の大切さなど、新たな視点を盛り込んだ大会として、横浜から、県内各地の魅力ある海洋資源の利活用や海の再生を全国に発信します。式典行事、海上歓迎・放流行事のほか、水産物の展示・販売、体感イベントなども予定されており、6万人の参加が見込まれています。

開催日：平成17年11月19日(土)・20日(日)

会場：パシフィコ横浜・臨港パーク・新港埠頭 ほか



イメージキャラクター「ウーミ」

「横浜オクトーバーフェスト2005in赤レンガ倉庫」

“今年の秋は赤レンガ倉庫でビール三昧”



「横浜オクトーバーフェスト2004」



今年で3回目を迎える「横浜オクトーバーフェスト」は、「日本におけるドイツ年」関連イベントとして、ドイツ大使館と同観光庁の協力により、さらに充実した内容となります。日本のビール発祥の地

「横浜」で、しかも築後100年近い歴史を経たドイツゆかりの「赤レンガ倉庫」で、ドイツ・ミュンヘン生まれのビール祭りをご堪能ください。

開催日時：平成17年9月30日(金)～10月10日(月・祝)

11:00～21:00(9月30日のみ18:00～21:00)

会場：横浜赤レンガ倉庫イベント広場

広告

パソコン一台からできる
コールセンター構築ならコールナビ

「リポート客を作る」ことは、新規顧客の獲得と同じくらい大切なことです。コールナビなら低価格で、パソコン一台から電話応対履歴などの顧客情報を管理できます。

つながる、ひろがる、大躍進
CallNavi

(株)アクション・システムズ
〒171-0014 東京都豊島区池袋2-53-12 ノーブル池袋ビル6F
TEL 03-5396-6778 FAX 03-5396-7515 E-mail info@action.co.jp

詳細はコチラ ▶▶▶ URL <http://www.action.co.jp/>

広告

kcp KIMPARA CO.,LTD.
ユニフォームから
次世代ビジネスを提案する!

OWLFIELD

2004年12月、ISO14001
環境マネジメントシステムの認証を取得しました。

<http://www.kimpara.co.jp>

株式会社 金原 横浜市保土ヶ谷区西谷町893 TEL (045) 371-0641

横浜開港150周年

横浜 新 未来構想!

これからの20年
～みんなで描く長期ビジョン～
<http://www.city.yokohama.jp/me/keiei/seisaku/vision/>

環境行動都市へ向け ハマッ子が行動します!
ヨコハマはG30

みなとみらい21

横浜みなとみらい21公式ウェブサイト
<http://www.minatomirai21.com>

企画・発行 株式会社 横浜みなとみらい21
横浜市西区みなとみらい2丁目3番5号 クイーンズタワーC11階(〒220-0012) TEL(045)682-0021 FAX(045)682-4400
横浜市都市整備局みなとみらい21推進課
横浜市中区港町1丁目1番地(〒231-0017) TEL(045)671-3501 FAX(045)651-3164
横浜市港湾局分譲促進課
横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル(〒231-0023) TEL(045)671-7341 FAX(045)651-7996